

みんな+AIで、江戸の本を解読しよう。

大阪大学所蔵貴重書 翻刻ワークショップ

～『べらぼう』の舞台・吉原を「みんなで翻刻」で読み解く～



『華すまひ（一目千本）』

（ともに大阪大学附属図書館蔵、IIIF公開資料）



『娼妃地理記』

開催趣旨

2025年の大河ドラマ『べらぼう』の主人公・**葛屋重三郎**。彼が世に送り出したベストセラーが、実は大阪大学附属図書館に眠っています。

本イベントでは、くずし字が読めなくても大丈夫。最新のAI技術「NDL-OCR Lite + Metom」を搭載した翻刻システム「みんなで翻刻」を使い、これらの貴重書をあらかじめ下読みします。

その文章を、さらに**人間**が推理して修正していきます。江戸のメディア王が仕掛けたパロディを、あなたの手で現代に蘇らせませんか？

使用資料（すべて阪大図書館蔵）

- 『華すまひ（一目千本）』：葛重のデビュー作。美しい挿絵入り名簿。
- 『娼妃地理記』：吉原を架空の国に見立てた地誌パロディ。
- （参考）『棹東作翁夷曲歌』：葛重の支援者・平秩東作ゆかりの書。

主催：大阪大学大学院人文学研究科人文学林

協力：大阪大学附属図書館

お問い合わせ：yoshiga.natsuko.hmt@osaka-u.ac.jp

DATE & VENUE

2026年

2月16日（月）

14:00 ~ 17:00

◎ 大阪大学 豊中キャンパス
言語文化研究A棟2F大講義室

SPECIAL GUEST



橋本 雄太 氏

国立歴史民俗博物館 准教授
「みんなで翻刻」開発者

FACILITATOR



吉賀 夏子 氏

大阪大学大学院人文学研究科
人文学林 准教授

TIMETABLE

14:00 オープニング & 資料紹介

14:15 イントロ・AI翻刻レクチャー

14:50 演習①：「花」の名前を読む

15:50 演習②：異世界マップ解説

16:40 成果共有・講評

17:00 終了

参加費無料・定員30名

対象：大阪大学の学生および教職員・学外者
(大阪大学学生・附属図書館職員優先)

お申し込みはこちら



<https://forms.office.com/r/s70f9JL40N>